

海上のプラスチックごみについて学ぶ 維和小学校の子どもたち

令和2年10月2日、当事務所にて上天草市維和小学校から来られた5年生6名・先生2名に対し、主に7月豪雨の際に発生したプラスチックごみ等に関する出前講座を開きました。

皆さんの食べ物や生活に必須な品の大半がどのようにして輸入されているか、港があることで助かることや無かったらどういった影響が生まれるのか、海洋環境整備船「海輝・海煌」の構造・仕事内容、7月豪雨において回収したごみの量・回収したごみの行方、プラスチックごみが環境にどんな影響をもたらすのかを学んでいただきました。

講座中は、生徒・先生全員が、興味深く聞いていただき、「プラスチックごみはどのように選別して処分されているか？」「船に直接積み込めない長く大きな流木の回収方法は？」「流木等の回収時に魚をとることはないのか？」「海輝・海煌以外に海洋環境整備船が日本には何隻あるか？」などの積極的な質問がありました。そして、講座の最後に生徒から「今後も港や海の環境を守ってください」とのお礼の言葉がありました。

今回の出前講座をきっかけに整備局の役割や海洋環境の大切さについて少しでも理解や興味をもってもらえたかなと思います。

講座をしての感想

生徒相手に分かりやすく説明することの難しさを知り、生徒との質疑応答で、さらに知識を深めることができました。

資料に基づき仕事 内容等を説明中



質疑応答中

